

矢沢たかお

自由民主党 川崎市議会議員

NEWS

みなさん、こんにちは。川崎市議会議員（宮前区選出）の矢沢孝雄です。
令和2年、オリンピック・パラリンピックイヤーがやってきました。川崎市においても英国代表チームの受け入れ等、準備を進めています。一方、本年は全市的に高齢化率21%を迎え、超高齢社会に本市も突入する年でもあり、防災減災対策の強化に加え、地域包括ケアシステムの推進も喫緊の課題です。今回は昨年最後の議会、第5回定例会の内容を中心にお伝え致します。



第5回定例会での一般質問③項目

1 犬蔵交差点の安全対策について ～歩者分離式信号機導入に向けて～

Q 市道尻手黒川線と市道向ヶ丘遊園駅菅生線を交差する形で存在する犬蔵交差点は、犬蔵小学校・中学校に通う児童生徒たちが大勢利用する交差点である。地域にとって長年の懸案事項であったその安全性について、これまで地域から幾度にも渡って指摘されているところである。これまでの小学校及び自治会等を含めた地域団体からの要望とその対応の経緯、直近3年間の事故発生状況、今後の安全対策を伺う。



平日早朝、通学時間帯の様子
急ぐ右左折車両と横断する多くの児童生徒

A 本交差点は、犬蔵小学校の通学路に指定されており、全町内連合会や犬蔵小学校から、横断歩道の設置など交差点の安全対策に関する要望をいただいている。横断歩道については、新たな用地の確保が必要であり、設置は大変難しい状況であることから、信号待ちスペースへの巻き込み事故を防止する車止めポールの設置や、交通管理者による歩行者用青信号の時間延長など、歩行者の安全対策を実施してきた。

当該交差点においては、平成29年度から現在までの間において、歩行者や自転車が関連する事故が3件発生しており、いずれも横断する際に右左折車両と接触したものである。

また、平成30年度に実施した委託業務においては、地元からの要望のひとつでもあった歩車分離式信号機の導入について検討しており、導入した場合においても、交差点処理への影響はないとの解析結果が得られており、現在、交通管理者と協議、調整を始めたところである。

Q 今後の課題は交通管理者「警察」との協議です。尻手黒川道路において、歩車分離式信号機の導入の実績が無いことが懸念の一つと仄聞しています。一方で、市としても「渋滞影響なし」との結論を導き答弁を行っているので、そこを議会としても後押しして参ります。

今後の課題は交通管理者「警察」との協議です。尻手黒川道路において、歩車分離式信号機の導入の実績が無いことが懸念の一つと仄聞しています。一方で、市としても「渋滞影響なし」との結論を導き答弁を行っているので、そこを議会としても後押しして参ります。

2 生田緑地内未利用地の活用について ～新しい公園広場に向けた提案～

Q 長沢自治会、初山自治会エリアにおいては従来からの畠が減少し、代わりに住宅が急増しており、直近10年で438世帯380人、直近20年で1211世帯1901人増加している。小さな子どもを持つ子育て世帯も多く流入しており、近くでのびのびと遊ぶことが出来るスペースを求めている。

そこで提案だが、初山1丁目と菅生1丁目に隣接し、生田緑地ゴルフ場の外周部において、樹々生い茂る未利用地がある。まずは、当該地に関する地域からの苦情や相談はこれまで寄せられているのか伺う。また、現在の土地の所有者及びどの程度の面積や形状を有する土地なのか、今後の活用にあたって、公園や広場などを含め、当該地の整備の可能性について伺う。



A 当該樹林地については、生田緑地の都市計画の決定区域内に位置しており、生田緑地ゴルフ場外周部の良好な樹林地の保全、利用を図るために平成10年から平成12年にかけて本市が取得後、管理を行っているが、これまでに苦情や相談などは寄せられていない。樹林地の面積は、約3,000平方メートルで、一般平坦地を含む起伏のある土地となっている。

今後の活用については、当該地の地形や樹林の状況を確認するとともに、地域の方々の御意見を伺いながら公園・広場等、有効利用の可能性について、検討していく。

3 行政手続きの簡素化に向けた取り組みについて ～旧態然としたお役所仕事～

当方ホームページで質疑の内容等を掲載していますのでご確認いただければ幸いです。

QRコード読み取りで
詳細内容が確認できます



日々の活動



宮前区選出議員団を
代表して市長要望



【台風19号被害】
丸子ポンプ場を視察



日々の地域陳情対応の様子



野川神明社境内
整備事業竣工記念式典



境内整備事業によって生まれ変わった
野川神明社外周部



【環境委員会】神戸市垂水下水道処理場を視察



定期的に続けている駅頭活動



令和2年新年賀詞
交歓会の実施

しっかり聴く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください！

矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山1-20-12

電話 044-976-2727

FAX 044-976-8686

※メールアドレスを変更致しました
(新) mail@yazawa-t.info

矢沢たかお 検索

<https://www.yazawa-t.jp/>

[twitter](#) [facebook](#) [Instagram](#)



令和元年川崎市 10大ニュース 投票結果



1位 5,337票
台風19号により
川崎市に大きな被害

2位 4,577票
川崎フロンターレが
JリーグYBCルヴァンカップで
悲願の初優勝

3位 4,248票
多摩区登戸で
刺傷事件が発生

4位 3,452票
川崎フロンターレが
FUJI XEROX
SUPERCUP 2019で初優勝

5位 2,311票
(仮称)川崎市差別のない
人権尊重のまちづくり
条例」を提案へ

6位 2,217票
横浜市営地下鉄3号線の
新百合ヶ丘駅延伸が決定

7位 2,182票
川崎市の人口が
政令指定都市第6位に

8位 1,957票
小田急線登戸駅が
ドラえもんの
キャラクターで装飾

9位 1,562票
京急大師線の
産業道路駅が地下駅に

10位 1,474票
川崎市の1人1日当たりのごみ
排出量が政令指定都市最少に

第5回川崎市議会 定例会のご報告

川崎市議会定例会 12月議会

先般発生した台風15号及び19号に関する被災者支援の補正予算を早急に執行すべく委員会審議を通さない、先行議決議案として本会議において全会一致で成立させていただきました。

また、市内外から注目を集めた、ヘイトスピーチに罰則（最高50万円の罰金）を科す「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」が全国で初めて可決・成立をしました。

我が会派は素案が示されてから「本邦外出身者に対する不当な差別的言動をした者が罰則の対象であり、日本人に対する差別的言動が行われた場合は罰せられることはないのか」「表現の自由を規制するのは法律に抵触しないのか」と多くの意見が寄せられ、懸念される問題についてこれまでの代表質問や文教委員会での質問、また、会派内において担当局と何度も意見交換の会議を開催し、修正協議を行ってきました。今回の原典之議員の代表質問においても、これまで示されていない市長が条例違反を認める場合の「解釈指針」を質しましたが、明確な答弁を得ることが出来なかったことなどにより、下の自民党提案による附帯決議案を委員会に提出し、これが可決しました。以上の附帯決議案を付して、自民党川崎市議団も本条例案に賛成、可決成立に至りました。しかし、まだまだ運用に課題が残る本条例に関してはこれからもしっかりと注視し、条例の修正も含め、議論してまいります。



上：山崎直史議長
下：原典之議員

附帯決議 (自民党提案)

1

本市における本邦外出身者に対する不当な差別的言動の状況、本条例の目的や施策の内容等について広く市民に周知徹底を図り、市民の理解の下、本条例を円滑に施行していくよう努めること。

2

本邦外出身者に対する不当な差別的言動以外のものであれば、いかなる差別的言動であっても許されるとの理解は誤りであるとの基本的認識の下、本邦外出身者以外の市民に対しても、不当な差別的言動による著しい人権侵害が認められる場合には、必要な施策及び措置を検討すること。

3

前項に掲げるもののほか、不当な差別的言動を一層推進するため、本市における不当な差別の実態の把握に努め、その解消に向けて必要な施策及び措置を講ずること。

台風19号 本市独自の被災者支援

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊(准半壊)	一部損壊(10%未満)
被災者生活再建支援制度 50~300万円				
※半壊の判定のうち、住宅が半壊し、住宅を止むを得ず解体した世帯半壊解体を含む。				
本市独自支援策 30万円			※床上・床下浸水被害	
災害救助法による住宅の応急処理制度 ※現物支給、日常生活に不可欠な部分の応急的な修理	30万円	59万5千円		(対象外)



特集

横浜市営地下鉄3号線延伸! ルートがついに決定!!

2020年1月21日に横浜市営地下鉄ブルーラインの延伸に関するルートが選定されました。約1年前の2019年1月18日に横浜・川崎の両市長が共同記者会見を行い、事業化判断され正式に延伸計画が決定されました。以降、あざみ野駅から新百合ヶ丘駅までの6.5kmを結ぶ延伸計画は、川崎市側をどのようなルートにするのかについて、これまで1年間かけて西側ルート(白山付近)、中央ルート(王禅寺公園付近)、東側ルート(ヨネッティー王禅寺付近)の3つのルート案が検討され、最終的には最も宮前区側となる東側ルートが選定されました。

宮前区選出市議会議員団は勿論、様々な諸団体のおけるこれまでの要望活動が結実したものと考えています。宮前区民にとっても利便性が最も高いルートでの中間駅が令和12年開業を目指し今後進められています。

■概略ルート・駅位置図



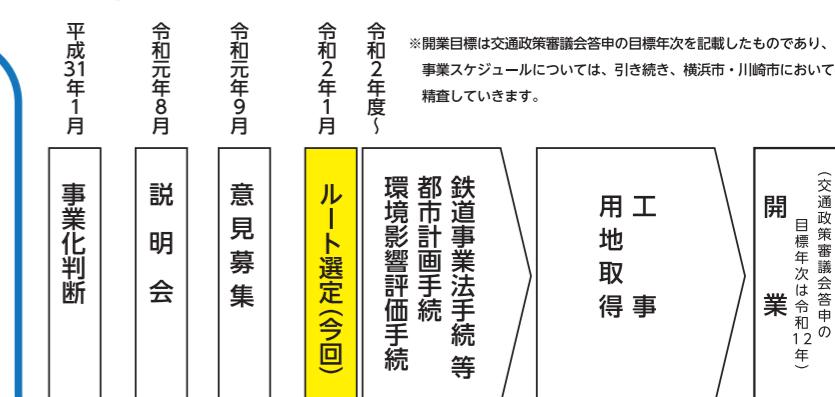
東側ルートの内容について

今回のルート・駅位置の基本的考え方では、ヨネッティー王禅寺付近に中間駅を設けることで、路線バス等の円滑な駅アクセスを可能とする交通結節機能の強化等を進めると同時に、周辺の住環境に配慮しながら、地域資源の活用等による賑わいの創出など、駅周辺の活性化に資するまちづくりを進めています。

開業目標年次は令和12年、概算事業費約1,720億円。その内、川崎市負担額は約215億円を想定しています。市民からすると10年間は長い時間ではありますが、進める側からすると時間が潤沢にあるとは言えません。今後計画を進める中で、地域要望等をしっかりと反映出来るよう、引き続き推進をして参ります。



■参考想定スケジュール



矢沢たかお プロフィール

- 昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる(34歳)
- 川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業
- 法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報科学部 卒業
- 平成20年 伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社・平成26年 政治活動に専念するため同社を退社・平成27年川崎市議会議員(宮前区)初当選・平成31年二期目当選
- 趣味:剣道四段(五段に向け修行中)、空手二段、書道毛筆三段、硬筆二段
- 家庭:妻・息子